

▶「始業前に9割の児童が本を借りて、図書委員は争奪戦となるほど人気の係なんです。本が好きというのが何より」とお話の高塚先生と「図書館が楽しい」と話す図書委員ら



図書館はみんなの寄りどころ

西部小学校が読書活動優秀実践校表彰に輝く

文部科学省が特色ある読書推進活動を行う団体を表彰する『子どもの読書活動優秀実践校』に西部小学校が選ばれ4月23日、文部科学大臣から表彰を受けました。

2か月に渡る読書月間、児童集会、図書館祭りなど数々の行事や取り組みを通して広がった『本が楽しい学校図書館づくり』が高く評価されました。

約6,500冊を蔵書する図書館は、本や人とのコミュニケーションの場で、ホッとする寄りどころ。手作りのポスター、新聞、しおりなどが目をひき、図書委員が中心となったお薦め図書を学年毎に紹介するコーナーなどもアイディア豊かで、目配り、気配りが行き届いています。

司書の高塚雅里紗先生は「学校全体の指導方針や人のつながりの中で、継続してきた活動が賞に結びつき、とてもありがたい。本や図書館が縁となって、子ども達の成長を応援できるのが嬉しいです」と、話されました。

ホールインワン大会などに元気いっぱい

多久市子どもクラブ大会

大型連休最終日の5月6日、市内15団体の子どもクラブ会員、保護者など約500人が多久市陸上競技場に集い、53回目の大会が開かれました。

競技場をスタート地点に、つつじの花の咲きほこる中央公園内の各ポイントを踏破するウォークラリーでは、多久にまつわる数々のクイズに、即答したり、小首を傾げたり。最高気温が25度を超す夏日にもかかわらず、子ども達は元気いっぱいで、この後のグランドゴルフの道具を用いたホールインワン大会に興じていました。日焼けは大丈夫でしたか？



▲「ぼくの腕前を見たか！」見事なホールインワンでした

県代表として31年ぶりに全国大会へ

全国・佐賀県消防操法大会出場結団式

7月27日の「第29回佐賀県消防操法大会」と、10月12日に東京で行われる「第21回全国消防操法大会」への出場選手の出場結団式が5月18日、中央公民館で開かれました。県大会（ラッパ吹奏の部）へは吉田連指揮隊長ほか団員39人、全国大会（自動車ポンプ操法の部）へは、竹廣喜友指揮隊長ほか13人で構成。市長からの激励や、来賓の方々からの祝辞と期待の言葉を受けた代表選手たちは、精一杯がんばり、成果を出すことを誓いました。これから大会までの期間、代表選手のみなさんは、綿密なスケジュールの下で、日々訓練に励まれます。

市民のみなさんも、選手を始め、消防団のみなさんを応援してください。



▲吉田・竹廣両指揮隊長の音頭でこぶしを上げ、健闘を誓う多久市消防団員